

# 池上百竹亭コレクション

平成二十八年年度 第三期

## 小川千甕、再び

せんよう

九月二十七日〜平成二十九年一月九日

池上百竹亭コレクションは、松本市の文人・池上喜作が生涯にわたって蒐集した近代文芸資料を主とする二〇一点の総称です。

今回の展示では、コレクションの中から、画家・小川千甕の作品を再びご紹介します。

小川千甕（一八八二〜一九七一年）は京都市生まれ。十代で仏画師の徒弟になり、浅井忠に洋画を学び、『ホトトギス』などに挿絵を描き、後半生は南画に専念した異色の画家です。

コレクションの中には、喜作からの依頼を受けて制作された作品もあり、喜作とは深い親交を持ちました。ここ松本にもたびたび訪れました。

自由奔放、ユーモアに溢れる千甕の世界をお楽しみいただければ幸いです。



《田稼秋景》1967年



《西洋風俗新大津絵 ガンスの女》1915年



《女猿引の図》1910年頃